

課外講習 第2期のお知らせ(高Ⅱ)

鷗友教育研究所 担当:中村達幸

第2期課外講習は、以下の要領で行われます。受講を希望する人は8月27日(水)までに申し込んで下さい。4月の時点で第2期講座を申し込んでいる人は今回申し込む必要はありません。なお、自分が既に申し込んでいるかどうか確認したい人は末尾(p.4)のアドレス宛にメールで問い合わせください。

【開設講座】

講座名	曜日・時間
1. Ⅱ・古文	月曜日 7・8時間目
2. Ⅱ・数学ハイレベル(数学H)	水曜日 7・8時間目
3. Ⅱ・数学スタンダード(数学S)	水曜日 7・8時間目
4. Ⅱ・英語ハイレベル(英語H)	金曜日 7・8時間目
5. Ⅱ・英語スタンダード(英語S)	金曜日 7・8時間目

※ 予備校等で授業をしている先生が担当します。

【授業内容】主に大学入試問題等を使用した演習。

【日程予定】第2期:9月～12月。100分授業×8回(第3期は全6回)

【費用】第2期講座 10,000円(第3期は7,500円)。2・3期合計なら17,500円

【講座内容と講師】

1. 古文 月曜 [講師]北山雅珠

【講座内容】

・大学の入試問題をみると、ほとんどが、和歌をまじえた文章になっています。平安、鎌倉のさまざまな物語や日記をとりあげ、そうした文章の読解には何が大切か、「和歌解釈エッセンス」や「文学史エッセンス」を交えて詳しく説明したいと思います。

・特に「文法」を徹底的に仕上げたい。苦手な人はぜひ受講してほしい。簡単に確実に満点がとれるよう指導します。

必ず皆さんのためになるものと信じています。一人でも多くの方の受講を願って居ります。

※第1期の第8回目の授業は、7月18日(金、前期終業式)13:00～14:40

2.Ⅱ・数学ハイレベル 水曜 [講師] 近谷邦彦

[講座内容]

単なる公式の暗記によるルーチンワーク的な作業に終始せず、どのように解くか(How)ではなく、何故(Why)、そのように解くかに重点をおいて解説していきます。教科書の例題を礎に、実際の入試問題から精選して演習していきます。この演習を通して、数学的な考え方(論理の進め方)を記述答案の練習とともに養成していきます。

第1回 個数の処理

第2回 確率

第3回 格子点

第4回 整数(1) 不定方程式

第5回 整数(2) 整数の論証

第6回 整数の融合問題

第7回 数列(1) 融合問題1

第8回 数列(2) 総合問題2

3.Ⅱ・数学スタンダード 水曜 [講師] 宮内 正

[講座内容]

数学の入試問題で最頻出の分野の演習と復習を行っていきます。扱う単元は、場合の数、確率、整数問題、数列などを考えていますが、受講生の様子を見ながら調整をすることもあるかもしれません。3年生になる前におさえておきたい標準的な入試問題を中心に扱います。

また、余裕があれば共通テストに向けての対策問題を、数題程度扱っていく予定です。

第1～3回 場合の数・確率 第4～6回 整数 第7・8回 数列

4.Ⅱ・英語ハイレベル 金曜 [講師] 中村真一郎

[講座内容]

1学期に引き続き重要文法事項を扱います。関係詞と比較の登場です。

関係詞は理屈をおさえながら学習していけば特に難しいことはありません。雰囲気や感覚ではなく、しっかりと理解しながら進めていきましょう。

比較に関しては苦手とする人が多いようです。攻略ポイントは、分かりやすい有益な理屈が通るところはまず理屈でおさえること。理詰めの説明がすこし多くなりますが、避けては通れないのでしっかりと取り組みたいところです。

両者とも内容の濃い分野です。よって差がつく分野でもあります。しっかりと習得し他の人たちと差をつけましょう。

第1回 関係詞の種類と用法

第2回 関係代名詞の省略、what の用法、慣用表現、連鎖関係代名詞

第3回 関係副詞

第4回 関係詞の非制限用法、複合関係詞

第5回 比較級・最上級の作り方、比較の基本形式

第6回 最上級相当表現、注意すべき比較構文

第7回 all the 比較級、no more than、no less than など

第8回 比較を含む慣用表現

5. II・英語スタンダード 金曜 [講師] 武谷武志

[講座内容]

2学期の講座では、苦手とする生徒が多い関係詞と比較を扱います。関係詞は英文のなかの名詞を文で修飾するときに使われるもので、この関係詞によって英文の表現力が飛躍的に高まる反面、読解においては英文が一気に複雑になる難所でもあります。この講座では文法・作文・解釈の要となる関係詞を分かりやすく整理し理解していきます。一方比較はほとんどの生徒がその基本構造を知らない分野です(同等比較は as と as で形容詞や副詞を挟む、といった誤解が蔓延している分野です)。この講座では比較の基本構造を徹底的にロジカルに、かつ分かりやすく説明し、自信をもって比較文を使えるようにします。また比較の難所である否定が絡む表現も徹底的にロジカルに説明していきます。時間に余裕があれば文型・時制・準動詞の復習も併せて行えればと思います。

第1回: 関係代名詞の基本

第2回: 先行詞を含んだ関係代名詞・擬似関係代名詞

第3回: 関係副詞

第4回: 複合関係詞

第5回: 比較文の基本構造

第6回: 比較と否定

第7回: 様々な比較の慣用表現

第8回: 総合演習

※授業の進度により変更あり

申し込み方法は次のページ

【申し込み方法】

1.受講料を振り込む

1講座 全8回(第2期)で 10,000 円。

(第3期は全6回のため、第2期・第3期同時に申し込む場合は計 17,500 円)

振り込みには2つの方法があります。どちらの方法でも振り込み時に手数料がかかります。

A 銀行などの口座からネットバンキングで振り込む

〈参照〉https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kouza/kj_sk_fm_kz_1.html

銀行名: ゆうちょ銀行 (金融機関コード: 9900 店番: 019)

店名(支店名): 0一九店(ゼロイチキュウ店)

預金種目: 当座

口座番号: 0615705

メッセージ欄がある場合は「生徒の学年・クラス・番号・氏名」をお書き下さい。(例 2A1 カモトモコ)

B お近くの郵便局で、郵便振替で払い込む

郵便振替用紙(郵便局にあります)に必要な事項を記入して、窓口で払い込む。

口座番号 00130-7- 615705

↑ 1マス分空白

加入者名 鷗友教育研究所

金額 (講習料)円

通信欄 「生徒の学年・クラス・番号・氏名」を記入

ご依頼人 依頼人の住所・氏名(保護者名でも生徒名でも可)を記入

※振り込みの半券は領収書としてご自身で保存しておいてください。

2.下の Google Forms に必要事項を入力して送信する。

ホームページまたはQRコードから入力する

→ <https://forms.gle/4TLxjht5ESNZBD376>



締め切りは8月27日(水)

【備考】

・第2期・第3期をまとめて申し込むことができます(両方で 17,500 円)。

・1回の振り込みあるいは1枚の振替用紙で複数講座の入金をして結構です。

・講座番号「2」と「3」を同時に、あるいは「4」と「5」を同時に申し込むことはできません。

・既に申し込んである人は今回申し込む必要はありません。申し込んであるかどうか確かめたい人は下のアドレス宛メールで問い合わせてください。

※ 質問あるいは締め切りに間に合わなかった場合などはメールで問い合わせをしてください

→ kyoikuken@ohyu.ed.jp